

(8) 循環器病(新)

① 指標の達成状況と評価

策定時*の値と直近値を比較	項目数	目 標 項 目
A 目標値に達した	1項目	・死亡率の減少
B 目標値に達していないが改善傾向にある	2項目	・自分の血圧を知っている人の割合の増加 ・血圧の正常値を知っている人の割合の増加
C 変わらない	0項目	
D 悪化している	0項目	
E 評価困難	2項目	・高血圧症発症者の推定数の減少 ・脂質異常症発症者の推定数の減少
合 計	5項目	

*改定後に設定された指標については、改定時の値と比較した

(参考2) 市町村国保加入者のデータを活用した指標の結果

(B) 改善傾向

- ・高血圧症有病者の推定数の減少

(D) 悪化している

- ・高血圧症予備群の推定数の減少
- ・脂質異常症有病者の推定数の減少・特定健診実施率の向上

○自分の血圧を知っている人の割合の増加、血圧の正常値を知っている人の割合の増加については改善した。

○死亡率の減少については、脳卒中及び虚血性心疾患による年齢調整死亡率については男女とも改善し、目標を達成した。

○特定健診・保健指導の結果を活用して評価することとしていた指標については、いずれも宮城県内全体の結果については、平成20年度分しかデータの把握ができなかったため、平成22年度までのデータが確認できた市町村国保の結果について、必要なものについては、年齢調整を行った上で評価した。その結果、高血圧症有病者の推定数の減少については、改善した。高血圧症予備群の推定数、脂質異常症有病者の推定数については、悪化した。

② 指標に関連した主な施策

- 宮城県医療費適正化計画の策定
- 地域・職域連携推進事業
- 特定健診・保健指導の実施（各保険者）
- みやぎ出前講座（事業所等）
- ホームページ・健康情報誌等での啓発普及
- メタボリックシンドローム対策戦略事業（働く人の健康支援事業，健康づくり推進商店街支援事業）
- 特定健診・保健指導実践者育成事業
- 栄養ケア・ステーション体制整備支援事業
- みやぎ21健康プラン推進事業，みやぎ健康の日普及事業（ホームページや健康情報誌，各種イベント等による普及啓発）
- 生活習慣病管理指導協議会の運営
- 心疾患・脳卒中登録事業

③ 今後の課題

- 特定健診・保健指導の結果については，平成20年度から22年度までの3年間の結果でのみ評価していること，評価対象が市町村国保のみであることから，宮城県内全体の結果について，把握・評価していく仕組みづくりが必要である。
- 特定健診・保健指導が開始され，糖尿病やメタボリックシンドロームの予備群に対する保健指導や情報提供を行うことについて，制度として確立されたが，保健指導実施率の向上や，保健指導による改善率の向上等，適切な推進が必要である。
- 循環器疾患予防のための一次予防については，特定健診を受診した者への情報提供や，一般県民向けの啓発などをより強化していく必要がある。
- 循環器疾患の重症化予防のため，医療機関での治療の継続率を上げる取組みが必要である。また，健診の結果要医療となった者が確実に医療につながるよう，受診勧奨の徹底などが必要がある。